

カミーユ・クロードル (1988)

CAMILLE CLAUDEL

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스 伝記

製作国 フランス

色彩 Color

時間 150分

初公開日 1989/10/07

公開情報 デラ=ヘラルド・エース=シネマテン=フジテレビ提供/ヘラルド・エース=ヘラルド

【解説】

1885年、パリ。才能を認められ、彫刻家ロダン（ドパルデュー）の弟子となったカミーユ・クロードル（アジャーニ）は、やがて妻のいる彼と愛し合うようになる。妊娠し、結婚を迫るが、ロダンは妻と別れられず、失意のカミーユは彼の元を去る。流産し、それを振り払うように創作に没頭、次第に評価を得るも貧困は続く。愛を無くした心の隙間には猜疑心と憎悪が住み着き、徐々に精神のバランスを失っていく。あれほど愛したロダンすら憎しみの対象となり、そして……。情熱の才媛、クロードルをアジャーニが熱演（ベルリン国際映画祭主演女優賞）だが、この（不必要な）長尺の間、徹頭徹尾ストーリーは陰鬱。舞台であるパリの空は、ロンドンのその如く重く雲が立ち込めている。ブルーというよりダークな気分になるには最適の映画。演出的にも特に見るべきところはない。語るべきはアジャーニの演技のみ。J S Bにて [TV完全版] が放映された。

【クレジット】

監督	ブルーノ・ニュイッテン	Bruno Nuytten
原作	レーヌ・マリー・パリス	
脚本	ブルーノ・ニュイッテン	Bruno Nuytten
	マリリン・ゴールドイン	Marilyn Goldin
撮影	ピエール・ロム	Pierre Lhomme
音楽	ガブリエル・ヤーレ	
出演	イザベル・アジャーニ	Isabelle Adjani
	ジェラルド・ドパルデュー	Gerard Depardieu
	マドレーヌ・ロバンソン	Madeleine Robinson
	ロラン・グレヴィル	Laurent Grevill
	アラン・キュニー	Alain Cuny
	カトリン・ブアマン	Katrine Boorman